

令和5年度 第1回我孫子市小中一貫教育推進委員会 議事録

開催日時： 令和5年7月21日（金） 15時～16時30分

開催場所： 我孫子市教育委員会 大会議室

出席者： 我孫子市教育委員会教育長 丸 智彦

我孫子市教育委員会教育総務部長 山田 和夫

我孫子市小中一貫教育推進委員12名

我孫子市教育委員会小中一貫教育推進室長及び推進室事務局3名

傍聴人： 無し

1 委嘱式

新規委嘱者	第1号委員	白百合女子大学副学長	内海崎 貴子
	第1号委員	我孫子東高等学校教諭	山本 幸恵
	第2号委員	湖北保育園主任	深山 君江
	第3号委員	湖北台中学校PTA会長	矢作 貴弘
	第3号委員	我孫子第二小学校PTA会長	吉嶋 諒
	第4号委員	白山中学校学校運営協議会委員	田中 玲子
	第4号委員	我孫子第三小学校運営協議会委員	鈴木 沢子
	第5号委員	白山中学校長	戸塚 美由紀
	第5号委員	我孫子第二小学校長	蒲野 毅
	第6号委員	根戸小学校教頭	太田 貴之
	第7号委員	湖北中学校教務主任	永沢 裕生
	第7号委員	子ども部次長兼子ども支援課長	阿部 政人

2 丸 智彦 教育長 挨拶

昨日で1学期が終わり、夏休みが始まりました。1学期は新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ扱いが変わり、学校の生活もコロナ禍前に戻ってきました。しかし、コロナやインフルエンザ等の感染症に罹患する児童生徒が多くなったのも事実です。それに対する対応について自分で考え、行動できる児童生徒を育てていきたいと思えます。

我孫子市の学校教育は小中一貫教育とコミュニティ・スクールの一体的な推進が特徴です。小中一貫教育に関しては、推進委員のご努力もあって、円滑に進んでいます。教職員の意識の浸透については、より一層頑張りたいと思えます。取り組みについては「繋～TSUNAGU～」 「スクラム」で広くお知らせしています。

小中一貫教育の取組が子どものために有効かどうか検証していきたいと思えます。ご意見の程どうぞよろしくお願ひします。

3 委員長 選出

委員長：内海崎副学長

副委員長：永沢教諭

4 自己紹介

略

5 議事

(1) 令和5年度の我孫子市小中一貫教育について

【事務局より説明】

まず、我孫子市が行っている小中一貫教育について説明させていただきます。我孫子市では、生きる力の育成を目指し、我孫子市小中一貫教育が目指す3つの子ども像を掲げ、中学校区をひとつのまとまりとして小中一貫教育を進めています。こうした子ども達を育てるために、義務教育9年間を貫く我孫子市共通のカリキュラム「Abi☆小中一貫カリキュラム」と、各中学校区で作成する我孫子市小中一貫教育の基本方針をもとに取り組んでいます。我孫子市では特に我孫子市らしさを生かしたふるさと学習の「Abiーふるさと」とキャリア教育「Abi-キャリア」を柱に、体験活動と小学校5、6年と中学校1年の接続期を重視しています。こうした学習の充実や、9年間の子どもの見守り支えるため、令和4年度4月よりスタートした、コミュニティ・スクールとの一体的推進を目指しています。詳細については、「我孫子市小中一貫教育基本方針」を参照してください。

つづいて、令和5年度の我孫子市小中一貫教育について、主に学校の取り組みを中心に説明いたします。

(資料に基づき以下について説明)

○我孫子市の小中一貫教育のイメージについて

○中学校区ごとの小中一貫教育に関する取組について

- ・中学校区小中一貫教育グランドデザイン（基本方針）の承認・評価・改善について
- ・Abi☆小中一貫カリキュラムの実施について
- ・小中一貫教育に関する学校評価の実施について
- ・小中、小小の交流活動について

(児童生徒の交流、職員の交流、中学校区合同研修会、教育ミニ集会、職員・保護者・地域との交流等)

- ・小中一貫の日の実施について

○コミュニティ・スクールとの一体的推進について

(2) 我孫子市小中一貫教育に係る評価について

【事務局より説明】

(資料に基づき以下について説明)

○Abi☆小中一貫カリキュラムの検証授業の実施

- ・検証授業実施のねらい

- ・ 検証内容
- ・ 検証方法
- ・ 令和5年度検証授業実施予定
- ・ 検証授業の様子
 - 「繋～TSUNAGU～」を参照しながら、具体的にどんな姿が見られ、それが、目指す子ども像とどうつながっていたかを具体的に説明

○小中一貫教育に関する学校評価の実施

- ・ 評価のねらいと方法、評価期間について
- ・ 令和4年度 市内学校評価集計結果について

【質疑応答】

- ・ 検証シートに記入する対象者を教えてください。(委員長)
- ➡ 授業を参観した教職員が対象です。自校・他校は関係ありません。(事務局)
- ・ 検証授業の一覧を見たときに、同じ内容であっても、教科の設定にばらつきがありますが、どういった理由でしょうか。(委員長)
- ➡ 各学校で内容の扱い方を検討し、教科特性を考慮して教育課程に位置付けています。(事務局)
- ・ 素晴らしいカリキュラムがあるのに、いかしきれておらず、活動が目的になっているのが現状です。校務分掌にAbi☆小中一貫カリキュラムの担当者をつけたらいいのではないかと思います。また、検証シートの評価に「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を入れてみてはいかがでしょうか。(委員)
- ➡ 評価に3観点を入れると、例えば道徳などで難しくなるかもしれません。教科の特性を入れると、やはり難しいかなと思います。(委員長)
- ・ 教師の横のつながり、子どもの縦のつながりの大切さを感じています。ただ、保護者にはまだ浸透していない感じがします。(委員)
- ・ 小中一貫教育やコミュニティ・スクールについて、先生方にもっと強く発信をしなくてはいけないと思いました。(委員)
- ・ 昨年度、白山中学校では職場体験を保護者に依頼し、体験先事業所の追加について地域学校協働本部へ依頼がありました。今年度は保護者の職場だけで受け入れが可能だったため、依頼がありませんでしたが、昨年受け入れてくださった事業所から今年も受け入れたいとのご要望があったため、体験先として追加させていただきました。せっかくできた地域とのつながりを繋いでいけるよう、来年度以降は早めにご相談させてもらえたらと思います。(委員)
- ➡ 教員の入替わりで引継ぎがうまくされていないのが原因でした。誰がやってもつながれるようにしていきたいです。(委員)
- ・ 「繋～TSUNAGU～」 「スクラム」 を保護者に配付したりホームページでPRしたりできないでしょうか。(委員)

- ➡市のホームページで閲覧できるようになっています。(事務局)
- ・学校のホームページから見られるようにして欲しいです。(委員)
- ➡キーワード検索でとべるようにしたらいかがでしょうか。(委員長)
- ・授業参観に小中一貫の授業をやるのはいかがでしょうか。幼稚園や保育園と小学校のつながりはどうなっているのでしょうか。(委員)
- ➡幼保小の取組は長く、横のつながりもできています。コロナ禍でもできることをやっています。(委員)
- ➡幼稚園、保育園と小学校も我孫子市として目指す子ども像を共有しています。先生方が仲良くなると、子どもも安心します。組織がつながることで人がつながり、メンバーが変わっても組織がつながっていることで持続可能であると感じています。(事務局)
- ・子ども達には貴重な経験をたくさんして欲しいと思います。子どもの力が発揮されるのは何年後か先の未来です。高校生の子どもが、幼稚園から中学校までの取組がどうであったのか、どう体現してくれるかが楽しみです。(委員)

(3) 小中一貫教育とコミュニティ・スクールの一体的推進について

【事務局より説明】

(資料に基づき以下について説明)

- 小中一貫教育における学校・家庭・地域との連携、協働の意義等について
- コミュニティ・スクールとの一体的推進について
 - ・学校運営協議会をとおした小中一貫教育の充実について
 - ・令和4年度からのコミュニティ・スクールの様子について
 - ・地域学校協働活動の充実について
 - ・学校と地域の組織的な連携、協働に向けて
 - ・東京理科大学との連携状況について

6. その他・連絡

【事務局より】

- 小中一貫教育に関する参観・評価について
 - ・実際に小中一貫教育に関する実践を見ていただき、第2回の会議では今年度の我孫子市の小中一貫教育について評価をお願いします。
 - ・2学期以降、授業参観日をいくつか設定し、後日ご案内しますので、参観をお願いします。そのほか、日々の教育活動の中で、我孫子市小中一貫教育について見ていただき、評価をお願いします。
- 第2回我孫子市小中一貫教育推進委員会について
 - ・第2回は令和6年2月13日(火)、15時からこちら教育委員会大会議室で行います。